



啓北中「6つの行動指針」 すべての教育活動を この考えのもと推進していきます。

- 01 **学ぼう** (子どもも教師も学ぼう)
- 02 **育てよう** (未来を生き抜く子どもに必要な資質・能力を育てよう)
- 03 **楽しもう** (子どもも教師も楽しもう)
- 04 **聞こう** (意見や悩み事など、子どもの声に耳を傾けよう)
- 05 **寄り添おう** (相手の立場になって考えよう)
- 06 **つながろう** (子ども同士をつなぐとともに、地域に、社会につなげよう)

挑 戦

2学期がスタートしました。命にかかわる大きな事故や病気などではなく無事にスタートできたことにまずは安心しました。2学期の始業式には、次のようなお話をしました。

私が皆さんに願う1番のことは、心も体も元気でいてほしいということです。これが何よりも大事です。

心も体も元気でいるっていうことは、前向きな気持ちで、何かをがんばったり、挑戦したりしている状態のことを言います。何もしない・・・とか、後ろ向きな気持ちで取り組んでいる状態は、元気レベルでいうと低めですね。

皆さんは、心身ともに元気でいるからこそ、楽しんだり、喜んだり、時には、怒ったり、悲しんだりできます。そして、なんにでも挑戦することができます。

この始業式、元気に戻ってきてくれた皆さんです。この2学期、何に挑戦しますか？

人それぞれだと思いますが、「**今の自分を常にアップデートすることに挑戦してほしい。**」自分の趣味や得意なこと、そして、勉強のアップデートにも取り組んでほしい。今の自分を超えて行け！その繰り返しで、どんな困難な場面でもがんばり抜く粘り強さが身に付き、成長できる。

ところでもう数年前になりますが、「ビリギャル」という本が出版され、映画化されたお話はご存じでしょうか。この主人公は、学校で一番成績が悪かったのですが、一人の塾の先生との出会いをきっかけに1年間で偏差値を40も上げ、見事慶応義塾大学に合格するというストーリーです。このモデルとなった小林さやかさんが、全国各地の講演会でお話をしていることの一つに、「**挑戦**」に関してこんなことを言っています。

「失敗を許容する環境が必要」

自身の体験談から、失敗してしまったときにも、小林さんの母は「よく挑戦したね。えらいね。」と、さやかさんに語りかけていたようです。だから、挑戦しようとする心が育った、と振り返っています。

啓北中学校は、挑戦する生徒を全力で応援し、結果によらず、そのチャレンジを称える学校でありたい。そして、未来を生き抜くための強い心を育てていこうと思います。

2学期の教育活動にも、たくさんの「挑戦」がみられることを期待しています。

本校のいじめの状況

20/399

この数字は、6月実施のいじめに関するアンケート調査結果です。4月からアンケート実施までの期間で「嫌な思いをしたことがある」と回答した生徒が20名いたということです。

(全校生徒399名)

保護者の皆さんは、この数字をどのように受け止めるでしょうか。

いじめの定義

- ・一定の人間関係にある生徒が行う
 - ・心理的または物理的な影響を与える行為（SNS含む）
 - ・行為を受けた生徒が心身の苦痛を感じている
- ※加害者がふざけているだけ、という行為も、被害者が苦痛を感じているとなれば「いじめ」となります。

アンケートは、子供の心の声です。

SNSトラブル、からかい、悪口、たたく・・・いじめに該当する行為は上記の定義に照らしあわせるとたくさんあります。子供の心の声をしっかりと受け止め、迅速に対応いたします。

41/399

この数字は、嫌な思いをしたときに、誰にも相談しないと回答した生徒数です。

思春期を迎える中学生が、大人に相談しなくなっていくのは発達上必然ともいえるのですが、嫌な思いをしたときに、家族に、友人に、先生に相談できることが、問題の早期解決に結びつきます。そのためにも、学校は、生徒の心に寄り添う姿勢をしっかりともち、相談しやすい雰囲気を醸成していくことが重要だと思っております。

学校や我々大人が生活している社会から「いじめ」をなくすことは容易ではありません。

いじめを根絶するただ一つの方法が「心の成長」です。**相手を思いやる気持ちを育てる**ことで、学校をはじめとするこの社会を本当の意味で「安全・安心」にすることができると信じています。道徳教育、学級活動における取組の工夫や配慮、個別の対応を繰り返し、子供の気持ちに寄り添いながら、心の成長を促していきます。

拠点校サッカー部 全道第3位！

胆振大会を勝ち抜き、全道大会へ進出した我がサッカー部。遠軽町で7月27日から行われた全道大会は、1回戦、2回戦を突破し、あと一つ勝てば全国大会という準決勝の舞台にコマを進めました。相手は優勝候補筆頭の札幌大谷。最後の最後まで戦い抜きましたが、あと一歩及ばず準決勝敗退となりました。結果は第3位！この成績は快挙です！選手の努力と挑戦が結果としてあらわれました。サッカー部の皆さん、感動をありがとう！そして、保護者の皆さん、多大なるご協力とご支援をありがとうございました。

2学期も安心・安全で、楽しい学校づくりを目指して、生徒・教職員一同がんばってまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、2学期もご協力を賜り、啓北中学校の生徒一人一人、そして教職員を応援していただきますようお願いいたします。

苫小牧市立啓北中学校長 遠藤佳伸